

認定講習会 B（解釈）コース 受講者募集要項

2021 年度の B コースは、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、感染リスクを配慮し、オンライン講義と対面でのケース検討という形で実施します。プログラム内容は例年と同じ内容で実施しますが、日程の設定等例年とは大きく異なります。募集要項の内容をよくご確認の上、応募をご検討ください。

< B（解釈）コースの実施要領 >

1. 日 程：

前半の「解釈過程講義編」(4 日間)

オンライン講義：8 月 21 日（土）・22 日（日）・28 日（土）・29 日（日）

後半の「症例検討編」 (5 日間)

ケース検討（3 日間）：対面での講習

※後半受講決定者を 4 グループ（1 グループ 6 人）に分け、2 グループずつ 2 回に分けて実施します（講師配置の関係により）。

前半 2 グループ：9 月 3 日（金）・4 日（土）・5 日（日）

後半 2 グループ：9 月 18 日（土）・19 日（日）・20 日（祝月）

※ケース検討（3 日間）は、現在のところ対面での講習を予定していますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、オンラインでの講習に変更になります。その場合ケース検討の日程は 4 グループとも後半の日程を予定しています。

オンライン講義（2 日間）：両グループともに 9 月 24 日（土）・25 日（日）

第 41 回 感覚統合療法認定講習会 B（解釈）コースプログラム（予定）

		午 前		午 後
解釈講義編	※	8/21（土）	オリエンテーション	情報のまとめ方
	※	8/22（日）	感覚統合障害の理解	
	※	8/28（土）	解釈過程の理解 1（行為機能障害）	
	※	8/29（日）	解釈過程の理解 2（感覚調整障害）	ケースの解釈（演習 1）
症例検討編	前 半	9/3（金）	ケース検討（A・B グループ）	ケース検討（A・B グループ）
		9/4（土）	ケース検討（A・B グループ）	ケース検討（A・B グループ）
		9/5（日）	ケース検討（A・B グループ）	ケース検討（A・B グループ）
	後 半	9/18（土）	ケース検討（C・D グループ）	ケース検討（C・D グループ）
		9/19（日）	ケース検討（C・D グループ）	ケース検討（C・D グループ）
		9/20（月）	ケース検討（C・D グループ）	ケース検討（C・D グループ）
	※	9/25（土）	ケースの解釈（演習 2）	
※	9/26（日）	感覚統合理論の臨床的展開	C コースへのオリエンテーション	

※⇒オンライン講義

2. ケース検討の開催地

ケース検討（対面での開催の場合）は、後半受講決定者を4グループに分け、4地域での開催となります。場所は、九州地域、近畿地域、四国・近畿地域、関東甲信越以北地域の4か所で検討中です。原則、受講者の施設から近い場所で受講していただきます。受講決定者が決まった段階で、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて最終決定します（7月頃の予定）。

3. 講師：学会認定講師及びインストラクター

4. 募集定員：前半35名(予定) 後半24名(予定)

【受講パターン】

- ① 前半の「解釈過程講義編」と後半の「症例検討編」をセットで受講（原則）
⇒申込の時点で、持参する予定症例の**評価結果がそろっている**必要あり
- ② 前半の「解釈過程講義編」と後半の「症例検討編」を年度を分けて受講
⇒原則、「解釈過程講義編」の受講から5年以内に「症例検討編」を受講することが望ましい
- ③ 前半の「解釈過程講義編」のみを受講
⇒職場環境その他の事情で、症例を用意して「症例検討編」を受講することが困難であるが、JPANの解釈を学びたい

【受講資格】

- ① 感覚統合療法認定講習会A（基礎・評価）コースの全日程を終了し、検査手続きのチェック（A'コース）を受け、合格の評価を得ていること。
- ② 感覚統合学会の**会費を納めていること**(2021年度分までのすべての期間)。
- ③ Aコース受講後5年以内が望ましい。
⇒**5年を経過して受講を希望する場合は、「理由書」を提出して**いただきます。
※**原則JPANのA'コースを再度受講**していただきます。
※SCSITバージョンのAコース受講でJPAN講習会を受講されていない場合は、Aコースの<検査習得編>の受講が必要となります。
- ④ 2021年度は、一部の講義を除いてZoomミーティングによるオンライン方式での講習のため、オンラインでの受講が可能な環境が整っていること…安定したオンライン環境（有線でのネット環境を推奨）及びPC環境（Webカメラ・マイク付きPC）等が必要。
推奨されるPC環境⇒OS:Windows8/8.1以上、Windows10、Mac OS X 10.7以上、CPU:2GHz以上、通信速度:ダウンロード30Mbps以上、アップロード:10~15Mbps以上の速度)

5. 受講料：前半後半セットで受講⇒110,000円（消費税含む）

前半のみ、後半のみ受講の場合⇒各55,000円（消費税含む）

- ・期日までに振り込みがない場合は、キャンセルとみなします。
- ・職場事情により振り込みが遅れる場合は、受講決定通知に記載されております担当者にメ

ールにてご相談ください。

- ・申込者のご都合により振り込み期限後に受講をキャンセルされる場合、原則として納入された受講費の払い戻しはいたしません。また、受講者側の機器（パソコン、タブレット等）・通信設備（インターネット回線、Wifi等）のトラブル等により講習会を受講できなかった場合も同様の対応となります。
- ・振込手数料は各自ご負担ください。

【注意事項】

天災、社会情勢、講師の急病、主催者側の機器やインターネット回線のトラブル等のやむをえない事情により講習会を中止・延期（日時の変更、時間の変更等）することがあります。中止・延期の連絡は受講予定者にメールでお知らせいたします。中止の場合は、受講費は全額をご返金させていただきます（受講費の振り込み時にご負担の振り込み手数料は、返金対象外となります）。これに伴い発生した交通・宿泊費等は各自でご負担いただくこととなります。ご理解ご了承をお願いいたします。延期の場合は、その後の対応に関して主催者側で検討後、受講者にメールにてご連絡いたします。延期による日程変更に伴い参加が困難となった場合の受講料の返金は中止と同様の対応とさせていただきます。

6. 募集期間：2021年4月1日～4月30日（30日消印有効、締め切り厳守）

7. 受講決定：2021年6月上旬に通知いたします。

受講決定の判断基準は、以下の7点を考慮しています。

- ①前述の**受講資格を満たしていること**
- ②応募書類に不備がなく、期日が守られていること
- ③**2020年度応募の有無⇒2020年度は、応募があった後にコロナウイルス感染拡大により、講習会が中止となったため、2020年度に応募された方が申し込まれた場合その方が優先となります。**
(2020年度の応募状況：前半の受講希望者⇒32名、後半の受講希望者⇒22名)
- ④Aコース受講年度が早いこと（ただし、Aコース受講後5年以内の受講者を優先する）
- ⑤後半の「症例検討編」を受講する場合は、**作成資料に不備がなく、評価結果もそろっていること（JPAN…Aセット～Cセットすべての実施、臨床観察は必須）。また必要な映像を準備できること。**
- ⑥定員以上の応募があった場合、同職場からの複数応募の際はそこから1名とする場合がある。
- ⑦2021年度に限っては、コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、後半の受講決定に関してはケース検討の開催地域を考慮する場合がある。

8. 申込書類：

前半・後半通しでの受講を希望される方及び後半のみの受講を希望される方

- ①受講申込書
- ②予定症例の資料（下記の「注意事項」を参照の上、A4用紙2～3枚程度にまとめること）

③同意書（下記の注意事項を参照）

前半のみの受講を希望される方 …①受講申込書

9. 申し込みにおける注意事項⇒後半の「症例検討編」に参加の場合

【予定症例について】

①Bコース後半の「ケース検討」では、症例1名（受講申し込みの際に提出した症例）の評価結果をまとめた、症例レポートをもとにグループで検討を行います。症例は、LD又はその疑いのある子ども、検査可能なASD、ADHD、軽度知的障害などで、問題点を感覚統合障害の観点から考察することに意味があると思われるお子さんとしてします。原則として受講希望者が担当していること。検査実施においては、評価の信頼性を損なわない程度に評価を遂行できることに留意してください。

②予定症例については、以下の7項目にそって資料を作成してください（申し込みの時点では、**要旨をA4用紙2～3枚程度にまとめる**）

- ・ 提出者氏名、所属
- ・ 対象児年齢、性別
- ・ 診断名
- ・ 主訴
- ・ 症例の特徴（生育歴、医療歴、現在の様子、遊びの様子など）
- ・ 評価結果：感覚統合検査結果…J P A N・臨床観察は必須
対象児を把握する上で必要となる種々の検査結果…知能検査等
※申し込みの段階では、評価結果用紙は必要ありません
- ・ 検査中の反応…検査結果の信頼性に関わる特徴的な反応など（例えば、感覚防衛的反応、衝動性、注意・集中、情動的反応、拒否など）

【同意書に関して】

学会として講習会での個人情報の扱いに関する説明を提示するとともに、持参する症例のご家族の同意書を取っていただくことになりました（受講生各自、職場での個人情報保護のための手続きを踏んでいると思いますが、それとは別になります）。

皆様への説明用と持参する症例のご家族様用のものがありますので、「個人情報の利用目的と利用に関するお願い」をよく読んで、ご家族様に丁寧に説明し、同意書の記入をご依頼ください。同意書は、下記の「問い合わせ・申し込み先」のメールアドレスにお問い合わせください。メールにて添付します。

10. 受講決定後に必要となる資料について（後半の「症例検討編」に参加の場合）

受講が決定した際には以下のような資料が必要となります。

（検査（評価）を実施するにあたりご確認ください。詳細は受講決定通知にてお知らせします）

(1) 症例報告レポート

(2) 検査結果資料及び映像

- ① 感覚統合検査結果：感覚統合発達記録、JPAN、臨床観察、JSI-R 又は S P、その他の検査用紙

- ② 関連する検査結果：知能検査・発達検査他（結果のみでなく用紙全てを持参すること）
- ③ 対象児の様子がわかる資料（人物画や学校のプリントなど）
- ④ 対象児に関する映像：（詳細は受講決定通知で確認すること）
 - ・対象児の特徴（主訴と関連した場面、良いところ、苦手なところ）がみられる遊びなどの場面
 - ・感覚統合検査の場面（JAPAN のすべての検査場面、臨床観察も必ず）※個人情報の関係で、映像の持ちだし等厳しい職場もあるかと存じますが、原則映像なしでの参加はお受けできません。

11. 問い合わせ・申込先：

〒197-0832 東京都あきる野市上代継 84-6

西多摩療育支援センター 上代継診療所 石原 幾子

E-mail : si_ninteikousyukai_b@yahoo.co.jp

※問い合わせは E-mail にて、申し込みは郵送にてお願い致します（厳守でお願い致します）。
電話でのお問い合わせがないようご注意ください。

12. その他：学会への入会手続きやお問い合わせは、以下の事務局にお願いいたします。

〒732-0828 広島県広島市南区京橋町 8-10 青木ビル 202

一般社団法人日本感覚統合学会事務局 宛

FAX : 025-257-4512

E-mail : si-jimukyoku2019@clock.ocn.ne.jp

